

K-BALLET

Daiwa House PRESENTS

Tetsuya Kumakawa

K-BALLET COMPANY



Spring 2018

# Gppélia

ゴツペリア

[芸術監督]

熊川哲也

熊川哲也 Kバレエカンパニー





熊川哲也が描く極上のユーモアとバレエの美の融合  
劇場をかつてない至福で満たした画期的傑作!



# Coppélia

Tetsuya Kumakawa K-BALLET COMPANY  
Spring 2018

2018年 5/24(木) ~ 27(日) [5公演] Bunkamura オーチャードホール



浅野真由香



小林美奈



毛利実沙子



伊坂文月



山本雅也



篠宮佑一



スチュアート・キャンディ



ピャンバ・バットボルト

日程 開演	5/24(木) 14:00	5/25(金) 14:00	5/26(土) 12:30	5/26(土) 16:30	5/27(日) 13:30
スワニルダ	小林美奈	毛利実沙子	浅野真由香	毛利実沙子	小林美奈
フランソ	山本雅也	篠宮佑一	伊坂文月	篠宮佑一	山本雅也
コッペリウス	S.キャンディ	B.バットボルト	S.キャンディ	B.バットボルト	S.キャンディ

2/24(土) 一般発売開始!

指揮: 井田勝大 管弦楽: シアター オーケストラ トーキョー  
料金(税込): S席 ¥14,000 A席 ¥10,000  
B席 ¥8,000 C席 ¥6,000

〈お問い合わせ・ご予約〉

チケットスペース 03-3234-9999 <http://www.ints.co.jp/> <http://www.k-ballet.co.jp/>

〈チケット取り扱い〉

チケットスペース 03-3234-9999 [チケットスペースオンライン](#) [検索](#)

TBS オンラインチケット [TBS 熊川](#) [検索](#)

Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 (オペレーター対応・10:00-17:30)

オンラインチケット MY Bunkamura [MY Bunkamura](#) [検索](#)

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:484-530) <http://w.pia.jp/t/k-ballet/>

ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター)(Lコード:32449) <http://l-tike.com/k-ballet/>

イープラス <http://eplus.jp/kumakawa/>

〈公演に関する詳細〉

◎キャスト予定は2018年2月1日現在。出演者の病気や怪我など、やむを得ない事情により変更となる場合があります。最新のキャスト情報は<http://k-ballet.co.jp/company>にてご確認ください。公演中止の場合を除き、実施するすべての公演に関して、主演者をはじめとするキャスト変更に伴うチケット代金の払い戻し、公演日や券種の変更は原則としてお受けできませんので、あらかじめご了承ください。◎公演中止の場合の旅費、チケット送料等の補償はいたしかねます。◎本公演は5歳以上の入場が可能です。但し、お席は必要です。◎演出上開演後の入場は制限させていただきます場合があります。◎開場は開演の30分前。

主催: TBS 特別協賛: 大和ハウス工業株式会社

協賛: Sugarlady オフィシャルエアライン: ANA

制作: K-BALLET/TBS

Photographs: Nobuo Yanai, Shunichi Ogawa, Hidemi Seto



客席から沸き起こる笑い声、躍動する舞踊の数々がも  
驚きと感動に満ちたロマンティック・バレエの名作が8年

2019年1月に設立20周年を迎えるKバレエカンパニーの記念イヤー第1弾を飾るのは、  
19世紀ロマンティック・バレエの名作『 Coppélia 』。

自身が稀代のダンサーであると同時に卓越したストーリーテラーとしても定評を誇る  
熊川哲也の手により、2004年、かつてない清新さで生まれ変わったこの舞台は  
純然たる古典の多彩な美を堪能させる一方、観客の心をくすぐる絶妙のユーモアにあふれ、  
さながら高級コメディーを見るような興奮と爽快感さえも与えてくれる。

昨年10月に世界初演を果たし、一つの到達点をみた完全オリジナルのグランド・バレエ  
『クレオパトラ』に代表されるように、“バレエにおける演劇性”を豊穣に押し広げ、  
世に証明し続けてきた熊川が生んだこの初期の傑作には、  
すでにしてその本領が鮮やかな手法で発揮されているのだ。

8年ぶりの上演となる今回は、バレエ界の次代を担う3組の新キャストを抜擢。  
笑いと驚き、そして感動に満ちたこの極上の物語バレエがまた新たな時間を刻む！



Kumakawa's Production of "Coppélia"

## Story

時は19世紀半ば。ヨーロッパのとある村に、コッペリウスという風変わりな老人が暮らしている。理想の女性を模った機械人形を作ることに執念を燃やす彼は、村の人気者スワニルダを見かけては、その美しさを自分の人形に取り入れようと、スケッチしたり採寸したりしている。一方、スワニルダの恋人フランツは、近頃コッペリウスの家のバルコニーにいる美しい娘コッペリアが気になって仕方がない。スワニルダは当然、心穏やかではない。ある時、コッペリウスが道端に落としていった家の鍵を見つけたスワニルダと友人たちは、いたずら心からコッペリウスの留守宅に侵入していく。そしてフランツもまた、コッペリアと話してみたいと、梯子を手にひとりバルコニーを昇り始める。謎のコッペリウス宅で彼らを待ち受けていたものは——？

伝統的な踊りの磨き上げからオリジナルの振  
優美さと躍動感にあふれる多彩な舞踊が！

フランツを中心に村人たちが踊るマズルカ、ジプシーたちと共に熱狂  
チャルダッシュなど民族舞踊を用いたエネルギッシュな踊りをはじめ  
「時の踊り」やグラン・バド・ドゥ……と舞踊の見せ場も潤沢な「コ  
伝統を磨き直した振付の妙に加え、高度なテクニックで魅せるフラ  
神聖な美に貫かれた女性ソロの「祈り」といった完全オリジナルの  
ドラマと緊密に融合しながら観客を高揚へと誘うこの出色の舞踊

# Coppélia

Production/Additional Choreography: Tetsuya Kumakawa  
Original Choreography: Arthur Saint-Léon Music: Léo Delibes  
Set and Costume Design: Peter Farmer Lighting Design: Hisashi Adachi

【演出・再振付】熊川哲也 【原振付】アルトゥール・サン＝レオン 【音楽】レオ・ドリーブ  
【舞台美術・衣裳】ピーター・ファーマー 【照明デザイン】足立 恒



「祈り」



「チャルダッシュ」

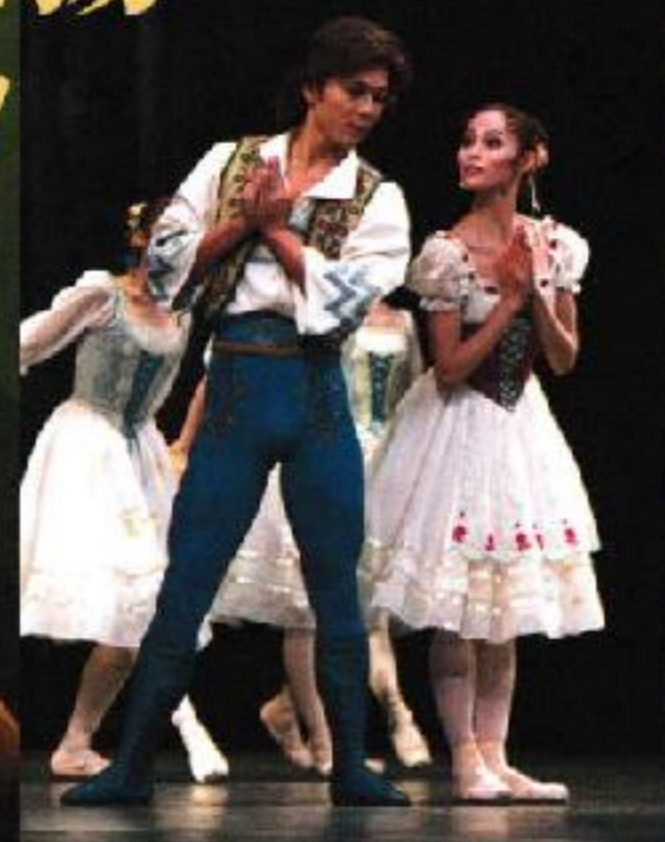


# がもたらす高揚…… が8年ぶりに!

## 現代にも通ずる普遍のキャラクター造形

### “マニャック”な老人コッペリウスはじめ、ヴィヴィッドに描き出される 愛すべき登場人物たちから目が離せない!

焼きもちやきで好奇心旺盛なスワニルダと、美女に弱いお調子者ながら愛すべき男フランツという主人公カップル、一人ひとりの個性も楽しいスワニルダの友人たち……とあらゆる登場人物がいきいきとした存在感を放ち、“生きた物語”を堪能させるのが熊川演出。中でも最も特徴的な一つが、物語のキーパーソンであるコッペリウスに独自の性格を与えたこと。ご執心のスワニルダをモデルにした人形作りに熱中するあまり奇怪な行動を見せるこの老人は、誰もが少なからず持っているマニャックな一面の象徴とも言える。そのなりふり構わぬ懸命さや純粋さは微笑ましくもあり、この舞台に独特の風合いをもたらしたのだ。演劇力においても高い評価を得るKバレエが表出する、他作品ではなかなか見ることのできないコミカルな魅力は必見!



## 設立から20年目。充実期を迎えた Kバレエカンパニーが誇る 次世代ダンサーたちの競演!

熊川哲也と荒井祐子が伝説を刻んだこの主演カップルを受け継ぐのは、抜群のテクニックに加え、演劇性においても進境著しい若手ダンサーを中心とした3組の新キャスト。全幕主演デビューとなった昨年末の『くるみ割り人形』では4公演でマリー姫を務めあげた小林美奈と、23歳の若さでタイトルロールを次々と射止め、カンパニーが誇るスターダンサーへと成長を遂げつつある山本雅也。今シーズン入団直後の『クレオパトラ』で早くも重要なソロパートに抜擢され存在感を示した毛利実沙子と、初の全幕主演となった2016年の『ドン・キホーテ』バジルの好演が本作フランツへの期待を高める篠宮佑一。そして今やベテランの域へと差し掛かりカンパニーの中核を担う浅野真由香×伊坂文月。Kバレエの層の厚さを実証するフレッシュな輝きと名演に期待を!

## オリジナルの振付まで 舞踊がドラマを一層高める!

たちと共に熱狂的な盛り上がりを見せる  
な語りをはじめ、「麦の穂の占い」、  
も涙沢な「コッペリア」。  
て魅せるフランツのソロや、  
全オリジナルの振付による名場面も生まれている。  
出色の舞踊絵巻はまさしく熊川版ならではの。



「ブライドメイド」

